

## 日本先天代謝異常学会 令和元年度第1回新理事会 議事録

日時：2019年12月21日（土）15：00～16：20

場所：ZoomによるWeb会議

（出席者：五十音順、敬称略）

理事：石毛 美夏、伊藤 哲哉、大竹 明、大橋 十也、

奥山 虎之、窪田 満、呉 繁夫、酒井 規夫、

高橋 勉、中村 公俊、深尾 敏幸、村山 圭

監事：鈴木 康之

幹事：笹井 英雄

### 1. 深尾敏幸理事長挨拶

理事の半分以上が参加しており、理事会の開催要件を満たしていることが報告された。

### 2. 報告事項

理事長深尾より

#### 1) 副理事長について

奥山虎之先生に依頼した。

#### 2) 評議員と幹事の追加について

評議員) 長尾雅悦先生、依藤亨先生、濱崎考史先生に依頼、快諾を得た。

（今後、戸松俊治先生、矢野正二先生、大友孝信先生の3名に依頼予定）

渉外担当幹事) (大石公彦先生に依頼予定)

庶務幹事) 笹井英雄先生

教育担当幹事) 若手の幹事を想定しており、生涯教育担当理事からの推薦待ち

報告に異議はなかった。

### 3. 審議事項

#### 1) 各種委員会の発足に向けて

理事から委員長および副委員長を選定したことが報告された。学会運営の継続性を担保するため、委員長はさらに追加の副委員長を評議員より選定する。

現時点での委員案は以下の通りである。

#### 【国際渉外委員会】

委員長：深尾敏幸先生

副委員長：中村公俊先生

#### 【薬事委員会】

委員長：中村公俊先生

副委員長：伊藤哲哉先生、濱崎考史先生

#### 【社会保険委員会】

委員長：窪田満先生

副委員長：石毛美夏先生

#### 【移行期医療委員会】

委員長：窪田満先生

副委員長：酒井規夫先生

#### 【小児慢性・指定難病委員会】

委員長：石毛美夏先生

副委員長：窪田満先生

#### 【栄養特殊ミルク・マスキング委員会】

委員長：伊藤哲哉先生

副委員長：石毛美夏先生

#### 【学術委員会】

委員長：大橋十也先生

副委員長：呉繁夫先生

\* 企業の関係者が演題発表する場合の採択基準等についても検討する。

#### 【倫理・用語・利益相反委員会】

委員長：大橋十也先生

副委員長：奥山虎之先生

#### 【生涯教育委員会】

委員長：中村公俊先生

副委員長：村山圭先生、

委員として石毛信之先生、中島葉子先生

\* 「症例から学ぶ先天代謝異常症」の新版作成についても検討する。

#### 【広報委員会】

委員長：高橋勉先生

副委員長：酒井規夫先生

#### 【診断基準・ガイドライン委員会】

委員長：村山圭先生

副委員長：中村公俊先生

#### 【患者登録委員会】

委員長：深尾敏幸先生

副委員長：奥山虎之先生

委員：以前のメンバー27名

#### 【オンラインジャーナル委員会】

委員長：大竹明先生

副委員長：高橋勉先生

委員：石毛美夏先生（アミノ酸代謝）、大友孝信先生（ライソゾ

ーム病)、山田健治先生(有機酸・脂肪酸代謝)、志村優先生(ミトコンドリア病)

ジャーナル活性化のための整備案を来年4月の理事会で審議する。

【総務委員会】

委員長：呉繁夫先生

副委員長：大竹明先生

【将来計画委員会】

委員長：酒井規夫先生

副委員長：村山圭先生、石毛信之先生、澤田浩武先生

\*多職種スタッフの学会参加を促す具体案も来年4月の理事会で審議する。

【特殊検査適正化委員会】

委員長：奥山虎之先生

副委員長：村山圭先生(依頼予定)、濱崎考史先生

【臨床研究推進委員会】

委員長：奥山虎之先生

副委員長：大橋十也先生、大竹明先生、成田綾先生(依頼予定)

【ICIEP 準備委員会】

委員長：深尾敏幸先生

副委員長：伊藤哲哉先生

委員：中村公俊先生、村山圭先生、清水教一先生、濱崎考史先生、小林博司先生、石毛美夏先生、成田綾先生

アドバイザー：井田博幸先生

\*韓国とタイからも local organize committee に入ってもらったことが報告された。

結果：承認

2) 令和2年度 Shire Scholarship "Shire is a part of Takeda" (若手研究者海外留学助成) の募集について

応募が現時点で1名存在するが、他機関から総額300万円以上の助成を重複して受ける可能性があり、現在の規程のままでは応募不可であるため、その対応が相談された。

理事からは留学先から給与が出ないのであれば「時代に則した形で、他の助成と重複してもよいのではないか」との意見があり、募集要項を修正する方針となった。スカラシップ授与するかどうかについては規定に従った委員会で審議する。

結果：承認

3) 村上班からの依頼について

先天性糖鎖異常症の全国疫学調査の連絡を拝受した。主に小児神経科医宛にアンケート調査を実施予定である。JSIMD 会員内で患者を診ている医師が多いようであれば評議員会等でもアナウンスする方針となった。

結果：承認

4) 名誉会員の推薦について

基準を満たしているため、衛藤義勝先生を名誉会員に推薦することが報告された。他に該当者がいる場合は、次回の理事会前までに事務局へ通知してもらう事が確認された。来年4月の理事会で決定し、評議員会での承認を得て、来年10月の総会で表彰する。

また、海外の名誉会員リストを学会雑誌に残すかどうかについての意見が交わされた。理事より「海外講演者は大会長が選任するので、学会組織とは区別すべき」等の意見があり、残さない方針となった。

結果：承認

5) 利益相反について

理事全員について、令和元年度の COI 書類を提出する必要がある事が確認された。

結果：承認

6) 企業関係者の学会発表について

企業関係者の学会発表に関して、宣伝・営業と学術的発表との線引きをどのように考えていくかについて意見が交わされた。理事からは「所属ではなく、演題内容で決めるべき。」や「科学的に質が担保された企業研究は多い。企業サポートのある臨床研究も増えてきたので、倫理審査が通っている企業研究は認めていくべき。」等の意見が出された。学会内でのコンセンサスを得る事が重要であり、何らかの基準を示した文章がある事が好ましいため、学術委員会で来年4月の理事会までに案を作成し、理事会で審議する方針となった。

企業関係者の学会員登録に関しては、理事からは「学会活性

化のために、企業関係者のみならず、栄養士や教員等の他職種の方にも積極的に学会正会員になっていただき、いろいろな方面からの議論ができる」とよい」等の意見が出された。

**結果：来年4月の理事会で基準案を審議。**

7) Recordati Rare Diseases Foundation 企画のアジア先天代謝異常症セミナーについて（中村公俊理事）

若手中心の国際セミナーで、2021年の年末もしくは2022年中に日本開催を打診されている。先天代謝異常学会セミナーと同時開催を検討しており、セミナー実行委員会を中心に運営を行う方針が報告された。教育的価値も高く、学会としてサポートしていく方針となった。

**結果：承認**

8) その他

JSIMDの法人化について意見が交わされた。これまで、今のところはメリットが明確ではないとのことで積極的な法人化の動きはない状態であったが、理事からは「法人化に関しては、オープンな話し合いが必要では」との意見が出された。今後も将来計画委員会を中心に、理事会で継続議論していく方針となった。

**結果：継続議論**